

朝鮮労働党は人民に奉仕することを根本使命とする党



ロベルト・カルボネル・ペソ

ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所理事

4月15日を迎えながら、われわれは金日成主席に崇高な敬意を表する。

人間中心の生命力のある学説と思考と革命活動の総体である主席の基本遺産、チュチェ思想は金正日総書記によって深化発展され、経済生活の各分野や保健医療政策、教育政策、科学と文化発展に具現された。

金日成主席はチュチェ思想の原理である自主性と創造性、意識性を革命活動に具現して米・日帝国主義とその連合勢力を打ち破り、朝鮮を自主性と尊厳の頼もしい保証である原爆と水爆、ICBMを保有した軍事強国に変えて、アメリカ帝国主義の敵対行為を断固と阻止した。

領袖、党、人民大衆の団結は、社会主義社会を発展させ、朝鮮革命を守る保証となっている。

時間が流れるにつれて、朝鮮民主主義人民共和国が政治、経済、軍事的に高い水準に上がったことを明白に知ることができる。

朝鮮革命の前進途上に横たわる大きな障害にもかかわらず、金正恩総書記が賢明に導く朝鮮民主主義人民共和国は、金日成・金正日主義の旗の下に、世界的な保健危機と厳しい自然災害が連続的に朝鮮を襲っているなかでも、自己の闘争綱領を履行するための頑強な闘争をくり広げて大きな勝利を達成している。

われわれは金正恩総書記が2021年1月5日に開会した成果的な朝鮮労働党第8回大会に熱烈な祝賀を送る。ならびに、朝鮮労働党と国家、朝鮮人民の永遠な領袖である金日成主席と金正日総書記に崇高な敬意を表する。

この度の大会は、金日成・金正日主義の旗の下に鉄のような統一団結と自力更生の原則で、革命的な党、朝鮮労働党が社会主義国家の建設と活動のすべての分野で人民を天のごとく神聖に奉じる以民為天を自らの変わりのない原則として闡明し、全党が人民に奉仕することをその根本的使命として押し立てた、画期的な出来事でありました。

今回の党大会は、各分野と単位の現状を党的、革命的、人民的な観点で反省し、批判と自己批判を強化した重要な契機となり、自己の内的原動力を引き出して朝鮮式社会主

義建設で新たな勝利を成し遂げるための正確な闘争方向と課題を提示した歴史的な出来事でありました。こうすることからして、朝鮮労働党第8回大会は世界の前に、活動する大会、闘争する大会、前進する大会の姿を見せました。

これとともに大会の以前から朝鮮労働党の規約を深く研究して、党規約が党建設と党活動のすべての原則が現実を正しく反映するようにし、自らの指導力と戦闘力を強化し、社会主義建設で主体の力、内的原動力を非常に強化するようにした。

大会ではまた、金属工業と化学工業をキーポイントとして捉え、大規模発展能力をもつ水力発電所の建設を推進させる問題、自立経済発展の前哨基地であるである石炭工業を発展させる問題、近代的で能率的な機械製品を開発生産する開発創造型の機械工業を発展させる問題、採取工業の発展問題など民族経済を発展させるための重要な決定が採択されました。そして鉄道運輸と陸・海運部門を近代化し、農業生産を増やし、軽工業と水産業を発展させることについても言及された。

会議では教育と保健医療、文化分野で提起される課題が明示された。

衛生防疫部門の活動体系と土台を固めて防疫の安定的な形勢を一貫して保障し、世界的な大流行病から国家の安全と人民の生命を守らなければならないと指摘されている。この戦闘は世界的な保健危機と続く自然災害から人民の生命を守り、人民の福祉を増進させるための為民献身の戦闘である。

教育部門で教育学的要求に即して教育内容と方法、教授管理制度を改善し、文学芸術と出版報道、スポーツ部門で革命を起こして社会主義文化の新たな開花期を開くための課題が示されました。

新たな5ヵ年計画期間に達成すべき各部門の科学技術発展目標が示された。

軍事分野と国防工業分野では、国家存立の礎石であり、国と人民の尊厳と安全、平和守護の確固たる保証である国家防衛力を強化するための重要な戦略的課題と全軍金日成・金正日主義化を堅持し、朝鮮人民軍を先端兵器で装備した革命的で近代化された社会主義国家の守護者に準備させるという課題が示された。

また対外関係と北南関係にたいする問題が深く検討された。

朝鮮労働党の指導は、金正恩総書記の周りに全軍、全民が一心団結した力に基づいていることにより、朝鮮人民の幸せと発展、国際社会で人類の平和発展の近道を指し示している。

朝鮮民主主義人民共和国の現在と未来と明るく指し示した金日成主席にもっとも崇高な敬意を表する。

金日成主席に永遠な栄光を捧げます。